



●国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路 全線開通&北陸新幹線の相乗効果で観光地に賑わい創出！

GWにおける能越自動車道の利用状況とこれまでの整備効果についてお知らせします。

GW期間中における開通区間の交通量は、6,200台/日と平日と比較して約82%増加、並行する国道160号の交通量が約67%減少しており、能越自動車道への交通転換が図られています。これまでに開通した区間の交通量が増加しており、能越自動車道全体の利用が促進されています。さらに、能越自動車道を活用したバス定期便（わくライナー）の運行が開始され、休日利用者が増加傾向、GW期間中の石川～富山県境の交通量や道の駅氷見（ひみ番屋街）のレンタカー台数が増加しており、北陸新幹線開業との相乗効果を発揮しています。

北陸新幹線の新高岡駅～和倉温泉間の所要時間が約25分短縮し、観光客のアクセス利便性が向上したことから、GW期間中における観光地の賑わい創出に貢献しました。



能越自動車道を利用し、道の駅氷見（ひみ番屋街）経由で高岡市と和倉温泉（石川県七尾市）を結ぶ路線バスで1日4往復運行



写真：新高岡駅から発車するわくライナー



写真：観光客で賑わう和倉温泉



写真：観光客で賑わう 能登食祭市場

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0519_1.pdf

●国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路【街頭インタビュー】 みなさんに聞いてみました！（GW編）みなさんの声をホームページにアップしました！

七尾氷見道路全線開通後、はじめてのGWを迎え、能登地区最大の祭礼「青柏祭」開催時に街頭インタビューを行い、みなさんの声をホームページにアップしました。

岐阜県から訪れた家族は「現道（160号）と違い一本道なので、簡単に七尾まで来られて便利です。」、一方、七尾市内の住民は「海沿いの道と比べて、かなり早く高岡まで行けるようになったので、よく高岡に行くようになりました」と、開通による喜びの声を語っています。

【街頭インタビュー】

七尾市にお越しの観光客や七尾市にお住まいのみなさんへインタビューしました。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/road/nanaohimi/index.html>



▲更新したホームページより抜粋



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0515_1.pdf

●国道8号 示野地下道（金沢市示野町）で防犯訓練を開催しました！

4月19日（日）、示野地下道で防犯訓練が開催されました。この防犯訓練は、登下校等の子ども達の安全を図るため、金沢西警察署、戸板小学校、長田中学校、戸板校下防犯協議会の他、更正保護女性会、示野防犯ボランティア、示野町町会及び、地下道を管理する金沢河川国道事務所が一体となって取り組んでおり、今回で12回目となります。

当日は戸板小学校の新1年生10名と父兄を含む約20名が参加し、実際に非常ベルを押して使い方を学びました。不審者などを見つけた際には、訓練で学んだことを生かして自分の身を守るのに役立てて欲しいと思います。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0417_1.pdf

●第11回石川県道路安全・円滑化検討委員会を開催しました！

5月25日（月）、金沢河川国道事務所にて、石川県内の国道や県道における、交通事故、交通渋滞など移動性の障害となる箇所について検討する「石川県道路安全・円滑化検討委員会」を開催しました。11回目となる今回は、交通渋滞や交通事故をテーマに意見を交わしました。

交通渋滞対策では北陸新幹線金沢開業や金沢近郊における大型店舗開店などに伴う交通状況の変化を注視するため、日々のデータが把握可能な民間プローブデータに加え、今後、「ETC2.0」から得られる新たなビッグデータを活用することなど、主要渋滞箇所における速度変化等のデータを継続的にモニタリングする方針が示されました。

このほか、県内の157カ所に指定されている渋滞特定箇所について、今年度実施される国の道路交通情勢調査（道路交通センサス）の結果に基づき、2016年度以降、順次箇所数を見直す方針が確認されました。

また、交通事故は事故対策（事故ゼロプラン）のPDCAマネジメントサイクルの試行方法や事故対策の実施状況などが議論されました。

直轄国道事故危険区間は75区間ありましたが、対策実施、効果検証を経て、18区間削除し、最新の事故データで抽出された3区間を加え、60区間になることが説明されました。

今後も本委員会での議論を踏まえ、関係機関と連携した対策の検討及び対策効果の検証を進めて参ります。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0522_1.pdf

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 杉 浩行

電話 076-264-8800（代表） F A X 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

金沢河川国道事務所モバイルサイト（携帯サイト）

URL：<http://c10w1bke.securesites.net/k/>